



PTAおやこあんぜん会

発行／(公財)富山県PTA親子安全会 編集／広報委員会

富山市舟橋北町7-1 富山県教育文化会館内 TEL (076)433-2094 FAX (076)433-2096 E-mail anzenkai@ch.mbn.or.jp

公益財団法人富山県PTA親子安全会 講演会(第5回富山県PTA会員大会)

平成29年11月25日(土) 県民会館ホール

夢と人生

宇津木 妙子 氏

女子ソフトボール元日本代表監督 NPO法人ソフトボール・ドリーム理事長。埼玉県生まれ。ユニチカ垂井ソフトボール部時代には、最年少で全日本選手として世界選手権大会準優勝に貢献。現役引退後は、実業団チームの監督を経て1997年日本代表監督に就任し、シドニーオリンピックでは銀メダル、アテネオリンピックでは銅メダルを獲得。

①「見返してやろう」が原動力

少女の頃、授業参観に来た母親が学校の先生から「娘さん、もっと勉強してもらわないと。」と言われ、母親からは「あなたは恥ずかしい。」と言われた。特待生として高校のソフトボール部に入学した。正義感が強く、先輩から目をつけられ、ロッカーが荒らされるなどのイジメにあった。

実業団チームのユニチカにエースのピッチャーと一緒にいくことになった。出発当日、駅で先生から「お前はエースの付録だからな。」と言われ、列車のトイレでずっと泣いていた。

母親、先輩、そしてその先生を見返してやろうと思い、実業団チームで努力続けた。



③金メダルを目指して

全日本のソフトボールの監督の要請を受けた。シドニーオリンピックでは、決勝までは全勝で勝ち上がった。決勝では、最終回にレフトの選手のエラーもあり銀メダルとなったが、試合後にエラーをした選手を責めたことを今でも後悔している。アテネオリンピックでは銅メダルに終わり、責任をとって代表監督を辞任した。

北京オリンピックでは、代表監督ではなかったがエースの上野由岐子選手とアメリカに行き、シュートボールを習得させた。そのこともあり北京オリンピックでは上野選手は大活躍し、金メダルにつながった。

②人を活かし、人を喜ばせることが課題

ユニチカでは、ソフトボールをしながら、最後に女子寮の寮母の仕事をした。ある寮生の無断外出を発見し、叱ったら、「私は家族から愛されていない。私なんかどうでもいいんだ。」と叫ばれた。その寮生に、人生で一度だけ平手打ちをした。するとその寮生は、「何でこんなにやさしいの。」と言った。みんな寂しいのだ。それに寄り添ってあげることが大事だと気づいた。

その後、日立のソフトボール部の監督の要請を受け、高校時代のイジメや、ユニチカでの寮母の話を選手の前です。選手を活かすために何でもやるという決意であった。



④最後に

何度もソフトボールをやめようと思ったけれど、やめなくてよかったと本当に思っている。ロンドン、リオとソフトボールがオリンピックの正式種目から除外されていたが、東京では復活することができた。しかし、まだまだ世界的にソフトボールは普及していない。普及活動に力を入れていきたいと考え、NPO法人を立ち上げ、日本から世界に向けて普及活動に邁進している。

家庭教育ではあいさつを交わすことで、その人の調子が見えてくる。あいさつも含めて、親は子供と向き合うことが大事であると考えている。

講演会の感想

- 「あいさつをしながら言葉かけをする」自分の子供にそんな簡単なことができていなかったことを悔しく感じました。今からでもできることを考えたいと思いました。
- どの世界でも何かを成し遂げた人は、皆同じ事を言う。「途中、何度も何度もやめようと思った。でも、やめなくて良かった。頑張って良かった。今だから言える。」「妬みややっかみがなかったら、私はここまで来れなかった」私に試練を与えてくれた人達に感謝できるところまで私も頑張りたいと思った。
- 素晴らしい内容で、泣きながら拝聴しました。
- 自分が受けてきたやっかみや、嫉妬を見返してやろうとして、ずっと今まで頑張ってきた宇津木さんの姿に感動しました。
- ただひたすらに未来を見据えて真面目に努力する。私たち親も、子育てに対しても逃げることなく子供に向き合ってほしいという熱いメッセージがちりばめられた講演だったと思います。素敵で勇気のでる大変貴重なお話が聞けました。

平成29年度 災害報告 <1・2学期分>

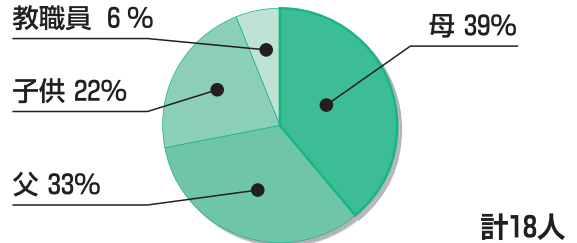
12月現在の災害報告は18件あり、昨年度の同時期と同数でした。

今年度は、富山市、射水市、南砺市で「安全教育研修会」を開催したところ。教育啓発活動用の視聴覚教材の貸出しも昨年度とほぼ同数の11件のべ18作品を数えています。これからも、様々な機会を捉えてPTA活動における安全意識の向上と災害・事故等の未然防止に努めてまいります。

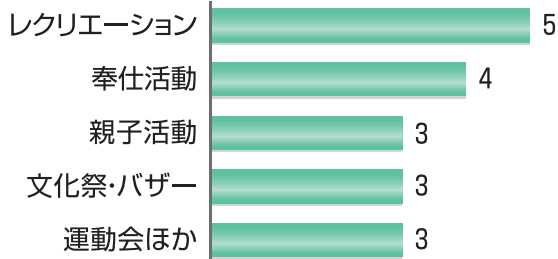
骨折の件数が昨年度3件から3倍近くになるようとしています。
高所から落ちたり、スポーツ中に手指を骨折したりする事例が多くみられました。



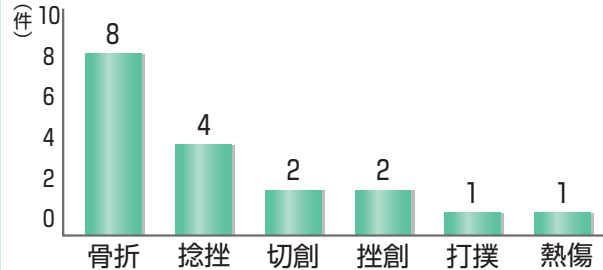
■ 受給者別割合



■ 活動・行事別件数



■ 傷病名別件数



寄付金にご協力ありがとうございました

PTA親子安全会では、修学への意欲をもつ子供たちのより一層の支えとなるよう、就学奨励金を給付しております。この就学奨励金に充てる目的で、皆様からの寄付を募集しております。今年度は21件総額43万円のご寄付をいただきました。今後も引き続き寄付金の募集をしておりますので、ご協力をお願いします。

ご寄付いただいた方々の一覧 (法人・個人それぞれアイウエオ順、敬称略)

〈法人〉

- あおば税理士法人
- (有)協和不動産
- (株)五万石 代表取締役 安井恒夫
- 富山いすゞ自動車(株)
- (有)フーズデベロップメント
- (株)ホンダセンター富山
- 明治安田生命相互会社富山南営業所

- (株)オートボディテクノ富山 代表取締役 岡村和幸
- キンコー樹脂工業(株)
- (有)サンクリーンユアンドミー 代表取締役 竹本伸生
- 辻建設(株)
- 北陸コンピュータサービス(株)
- 松島工業(株)

他2法人

〈個人〉

- 梅田一好
- 大辻知朗
- 深松 茂
- 林 由希

他2名

今年、十年ぶりに広辞苑が改訂されました。PTAを広辞苑で引くと「父母・教師の協力による教育の改善・向上、児童・生徒の成長・発達と福祉の増進を目的とする。」と記載されています。PTA活動といえば「教育の改善・向上」にあるように、子供たちの環境の整備や改善、また、保護者の交流などが中心でした。しかし、近年「親学び」に見られるように子供たちの「成長・発達と福祉の増進」を願って親同士が学び合ったり、様々な問題を話し合ったりする活動も重視されるようになってきました。親子安全会でも、こうした学びの場でも使っていたら、DVDの貸出しの充実。また、参考にしていただけるように広報紙での特集や講演会・安全教育研修会などを行い、様々なPTA活動のサポートを充実させていきたいと考えています。

編集後記

- | | |
|-----|--------------|
| 委員長 | 寺内 真(朝日地区) |
| 委員 | 大城 孝啓(魚津地区) |
| 〃 | 宮坂 梓(滑川地区) |
| 〃 | 大辻 知朗(立山地区) |
| 〃 | 庄司 昌弘(富山地区) |
| 〃 | 吉川 満博(富山地区) |
| 〃 | 増川 邦生(小矢部地区) |
| 〃 | 安念 佳昭(砺波地区) |
| 〃 | 大村 賢(魚津ブロック) |

平成二十九年度 広報委員紹介